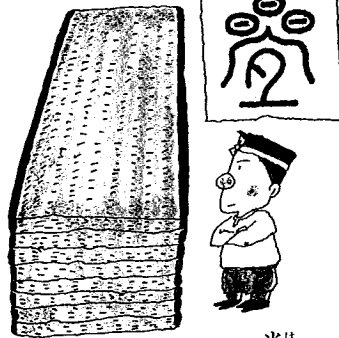


畳

おん ジョウウ
たたむ・たたみ

12画
冂 冂 田 甲 甲 甲 甲 冂

なりたち 旧字体は畳。本字は疊。晶(重なる意味)と玄(宜の本字)宜(むしろしい意味)との会意形声字。「宜しく重なる」↓「正しく重ねる」意味の字。わが国では「たたむ」また、「たたみ」の意味に用いる。



いみとじゆく(二)
▼たたむ。積み重ねる。
畳語：同じ言葉を重ねて一つの言葉にしたもの。「われわれ」「山々」「人々」などがその例。
重畳：①何重にも積み重なっていること。【用例】重畳たる山々。②大変満足であること。【用例】それは重畳。」

▼たたみ。
畳表：畳の表につける、いぐさで作った敷物。
青畳：新しく青々とした畳。
石畳：①平らな石を敷きつめた所。②石段。
半畳：①たたみの半分。②昔、芝居で見物人が敷いた小さなござ。【用例】半畳を入れる(相手の話をからかって茶化すこと。芝居に不満な見物人が半畳を舞台に投げたことから。)

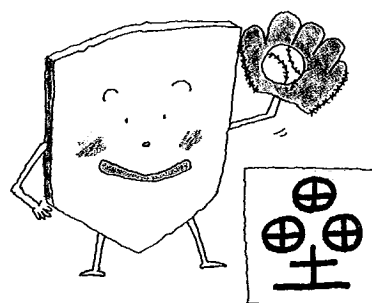
畳

塁

おん ルイ

12画
冂 冂 甲 甲 甲 甲 甲 冂

なりたち 旧字体は疊。重なる意味の晶(と)と土との会意形声字。土を盛り重ねて作った城壁を表した字。「とりで」根拠地(英語のベース)のこと。



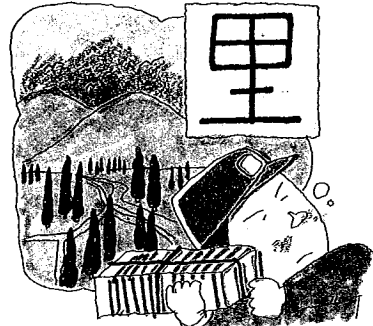
いみとじゆく(二)
▼とりで。
土塁：土を重ねて作った、とりで。
塁壁：とりでの壁。
孤塁：孤立した、ただ一つのとりで。【用例】孤塁を死守する。
▼野球のベース。
本塁：ホームベース。
出塁：ヒットやフォアボールで塁に出ること。
走塁：塁から塁へ走ること。
盗塁：塁に出た走者が、投手のすきを突いて次の塁に進むこと。
満塁：一・二・三塁とも走者が居ること。
残塁：チェンジ(交替)になった時、塁に走者が残っていること。

里

おん リ

7画
一 冂 冂 日 甲 里

なりたち 田と土との会意字で、「田んぼ道」を表したもので、「道の長さ」の単位となる。また、田んぼ道の両側に家が建ち、そこが人の住む「村里」となる。転じて、村の大きさの単位。



いみとじゆく(一)
▼道の長さの単位。
一里塚：昔、全国の街道に一里ごとに設けた塚。(土を盛り上げて木を植えたもの。一里は約四キロ。)

里程：道のり。【用例】里程(道ばたに置いた、道のりを示す標識)。
▼人が集まって住む所。さと。
村里：田舎で人が集まって住んでいる所。
郷里：故郷の村。ふるさと。
▼育った所。郷里。
里子：他家に預けて育ててもらった子供。【用例】里子に出す。
里親：他家の子供を預かり、親がわりになって育てる人。
里心：自分の実家や故郷に帰りたいと思う心。【用例】里心がつく。

よみかた 里帰り・一望千里・海里・糸里・千里眼・万里

里野

野

おん ヤ

11画
冂 冂 日 甲 里 野

なりたち 物事の「手前」の意味の子と里との会意形声字。村里の手前に広がる「平らな土地」を表した字。「野原」。転じて、「自然・自然のまま」の意味。



野良

いみとじゆく(一)
▼平らな土地。野原。
山野：山と野原。
平野：広く平らな土地。
広野：広々とした野原。
荒野：人家も田畑も無い、荒れはた野原。
▼自然のまま。
野生：動物や植物が野や山で自然に育つこと。
野草：野に自然に生えている草。

▼洗練されていない。
粗野：あらつぽく、洗練されていない様子。

▼範囲。
視野：①目で見える範囲。②考えの及ぶ範囲。【用例】視野が狭い。
さんこう 特別なよみかた↓